



— 鍛えることの実践 —

愛知県立新川高等学校長 小川裕之

校長として、新川高等学校で3回目の春を迎えました。

320名の新入生を迎え入れた4月6日の入学式では、今日からがみな同じスタートライン、今日のこのやる気に満ちた新鮮な気持ちを持ち続けること、そしてその上に立って、「自ら積極的、主体的に学ぶこと」「人との関わりの中で自分を高めること」という二つを忘れず、たくましく、かつ、心豊かな人間に成長して欲しい、とエールを送りました。



また、学校臨時休業の関係で、始業式が未実施のため、今年度生徒諸君に伝えなかったことを以下に書きます。

『昨年度は、勉強・部活動・学校行事の3つを、その時々に合わせて、精一杯追え、三兎を追え、と言ってきました。その考え方は今年も変わりませんが、今年度は、**「与えられた時間の中で、限られた時間の中で、自分を鍛えよ」**これを諸君に求めていきたいと思えます。たとえばこの3月、4月の休業中の生活を振り返ってみて、自分自身を鍛えることができたと思いますか？特殊な環境で、部活動や学校行事はできなかったかもしれませんが、勉強はどうでしたか？健康管理はしっかりできましたか？置かれた状況の中で、自分を鍛えられたかどうか、この休業中を振り返るだけでも分る筈です。易きに流れることなく、しっかりと自分自身を鍛え、しっかりと磨いてほしいと思っています。コロナウイルスの影響で、いつもとはかなり違う年度の立ち上がりですが、自分で使える時間が多くある中だからこそ、しっかりと自分を鍛えることができるのか、安易な方向に流れてしまうのか、成否の大きな分かれ目であると思えます。』

明日が見通せない時代、明日何が起こるのか全く予想だにできない時代、今年のお正月には、いったい誰が2020東京オリンピックが開催できないなどと予想できたでしょうか。こんな時代にあって、君たちがやらなければならないこと、それは、**「自分自身を鍛えて、力をつけること」**、これだと思えます。われわれの想像をはるかに超えるAIなどの技術革新のスピードや社会構造の変化、押し寄せる多様性の波、それらに加え、今現在は新型コロナウイルス感染の不安や恐怖、このような全く先が見通せない時代に、何をどうすればいいのか、明快な答えはないかもしれません。**新川高校の生徒として、実行してほしいことは、「健康に留意して、自分を精一杯鍛えること」**、そしてわれわれ教職員の役割は、「その鍛える環境をきちんと整備し、サポートしていくこと」、そんな風に思っています。今年一年、精一杯自分自身を鍛え、磨いていこう。